

般若心経「三蔵法師玄奘訳」 花山勝友「和略」

かんじざいぼさつ

観自在菩薩

「観音菩薩が、」

ぎょうじんはんにはらはらみったじ

行深般若波羅蜜多時

「深遠な知恵を完成するための実践をされている時、」

しょうけんごうんかいくう

照見五蘊皆空

「人間の心身を構成している五つの要素がいずれも本質的なものではないと見極めて、」

どいっさいくやく

度一切苦厄

「すべての苦しみを取り除かれたのである。」

しゃりし

舍利子

「そして舍利子に向かい、次のように述べた。舍利子よ、」

しきふいくう

色不異空

「形あるものは実体がないことと同じことであり、」

くうふいしき

空不異色

「実体がないからこそ一時的な形あるものとして存在するものである。」

しきそくぜくう

色即是空

「したがって、形あるものはそのまま実体なきものであり、」

くうそくぜしき

空即是色

「実体がないことがそのまま形あるものとなっているのだ。」

じゆそうぎょうしき

受想行識

「残りの、心の四つの働きの場合も、」

やくぶによぜ

亦復如是

「まったく同じことなのである。」

しゃりし

舍利子

「舍利子よ、」

ぜしょほうくうそう

是諸法空想

「この世の中のあらゆる存在や現象には、実体がない、
という性質があるから、」

ふしょうふめつ

不生不滅

「もともと、生じたということもなく、滅したという
こともなく、」

ふくふじょう

不垢不淨

「よごれたものでもなく、浄らかなものでもなく、」

ふぞうふげん

不増不減

「増えることもなく、減ることもないのである。」

ぜこくうちゅうむしき

是故空中無色

「したがって、実体がないということの中には、形あ
るものはなく、」

むじゆそうぎょうしき

無受想行識

「感覚も念想も意志も知識もないし、」

むげんにびぜつしんに

無限耳鼻舌身意

「眼・耳・鼻・舌・身体・心といった感覚器官もない
し、」

むしきしょうこうみそくほう

無色声香味触法

「形・音・香・味・触覚・心の対象、といったそれぞ
れの器官に対する対象もないし、」

むげんかいなしむいしきかい

無限界乃至無意識界

「それらを受けとめる、眼識から意識までのあらゆる
分野もないのである。」

むむみょう

無無明

「さらに、悟りに対する無知もないし、」

やくむむみょうじん

亦無無明尽

「無知がなくなることもない、」

ないしむろうし

乃至無老死

「ということからはじまって、ついには老と死もなく」

やくむろうしじん

亦無老死尽

「老と死がなくなることもないことになる。」

むくしゅうめつどう

無苦集滅道

「苦しみも、その原因も、それをなくすことも、そし
てその方法もない。」

むちやくむとく

無知亦無得

「知ることもなければ、得ることもない。」

いむしょとくこ

以無所得故

「かくて、得ることもないのだから、」

ぼだいさった

菩提薩垂

「悟りを求めている者は、」

えはんにやはらみった

依般若波羅蜜多

「知恵の完成に住する。」

こしんむけいげ

故心無圭礙

「かくて心には何のさまたげもなく、」

むけいげこむうくふ

無圭礙故無有恐怖

「さまたげがないから恐れがなく、」

おんりいっさいてんどうむそう

遠離一切転倒夢想 「あらゆる誤った考え方から遠く離れているので、」
くきょうねはん
究境涅槃 「永遠にしずかな境地に安住しているのである。」
さんぜしよぶつ
三世諸仏 「過去・現在・未来にわたる”正しく目覚めたものたち”は」
えはんにやはらみつたこ
依般若波羅蜜多故 「知恵を完成することによっているので、」
とくあのくたらさんみやくさんぼだい
得阿耨多羅三藐三菩提 「この上なき悟りを得るのである。」
こち
故知 「したがって次のように知るがよい。」
はんにやはらみつた
般若波羅蜜多 「知恵の完成こそが」
ぜだいじんしゆ
是大神呪 「偉大な真言であり、」
ぜだいみょうしゆ
是大明呪 「悟りのための真言であり、」
ぜむじょうしゆ
は無上呪 「この上なき真言であり、」
ぜむとうどうしゆ
は無等等呪 「比較するものがない真言なのである。」
のうじょいっさいく
能除一切苦 「これこそが、あらゆる苦しみを除き、」
しんじつふこ
真実不虛 「真実そのものであって虚妄ではないのである、と。」
こせつはんにやはらみつたしゆ
故説般若波羅蜜多呪 「そこで最後に、知恵の完成の真言を述べよう。」

そくせつしゅわつ	
即説呪曰	「すなわち次のような真言である。」
ぎやていぎやていはらぎやてい	
羯帝羯帝波羅羯帝	「行き往きて、彼岸に行き、」
はらそうぎやてい	
波羅僧羯帝	「完全に彼岸に到達した者こそ、」
ぼうじ	
菩提	「悟りそのものである。」
そわか	
僧莎訶	「めでたし。」
はんにやしんぎょう	
般若心経	「知恵の完成についてのもっとも肝要なものを説ける経典。」

※ 舍利弗「舍利子」は釈迦の十大弟子の一人である。

シャーリー「サーリー」は母親の名前で、ある特定の鳥を意味し、「鷺鷥」などと漢訳されるが、いずれの鳥であるかは判然としない。

プトラ「プッタ」は「弗「ホツ）」と音写し「息子」を意味するため、漢訳では舍利子「しゃりし」とも表される。「シャーリーの子」の意。釈迦弟子中において、智慧第一と称される。